

北九州市立枝光台中学校

**えだみつだい**

校長 戸次 健治

【校訓】

「邂逅」「自律」「創造」

【学校教育目標】

「知・徳・体の調和のとれた心豊かで、学校や地域を  
愛し自主自立の精神に満ちた生徒の育成」

## 三学期、始業式で話したことです

新年、明けましておめでとうございます。きっと全員が心新たに年の始めを迎えてくれたことだと思っています。今年は辰年です。そして十干十二支では「甲辰（きのえたつ）」の年となります。甲は、物事の始まりととらえられています。また、辰は発芽した植物がしっかりとした形になる、勢いと大きな力、成功ととらえられています。この二つが合わさる甲辰は、新しいことを始めて成功する、いままで準備してきたことが形になるといった、縁起のよい年になると言われています。干支にちなんで今年は、今までの君たちの努力が、いよいよ芽を出して、成長することを期待します。今年も、皆で協力して良い年にしていきたいと思います。

今日は君たちに二学期末にとったアンケートの結果について話をします。「学校の授業時間以外に普段一日にどれくらい勉強しますか」等のアンケートです。一学期末にも同じアンケートを取りました。今回は一学期との比較で伸びた点を紹介します。

まず、「学校の授業時間以外に普段一日にどれくらい勉強しますか」ですが一学期に比べて勉強する時間が増えています。毎日一時間以上勉強する人が一学期は35%の45人だったのが二学期は43%の51人で、増えています。また、「自分からあいさつをする」人が一学期が91%から二学期は95%の人が自分からあいさつをすると答えています。まったくあいさつをしない人は0人です。さらに、「思いやりをもって他の人に接することができる」と答えた人の割合は一学期90%でしたが二学期は97%と大きく伸びています。「思いやりをもって接することができない」と答えた人は0人です。私はこの「思いやりをもって接することができる」人が増えたことが一番うれしいです。人が人として生活する上で一番大切なことは「思いやりの心をもつ」ことだと思っています。

3月8日には卒業式がひかえています。これは3年生にとっては中学校生活3年間の終わりであり義務教育9年間の終わりをも意味します。お世話になった人たちへの感謝の気持ちを表し、新しい生活の始まりに向かって決意を新たにす人生の節目となる重要な儀式です。また、1、2年生にとってはお世話になった3年生への感謝の気持ちと祝福の気持ちを表す場でもあります。ここにいる皆さんが思いやりの気持ちをもって残りの時間を過ごせば、きっと素晴らしい式になると思います。一日一日を大切に友だちに対して思いやりの心をもって過ごしてください。

最後に、元旦に発生した能登半島地震で亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された方へお見舞い申し上げます。ここ数年地震や大雨等の災害が続いています。日本列島どこにいても災害のリスクはあります。改めて皆さんと「自分の命は自分で守る」という原則を確認したいと思います。今年1年が皆さんにとって素晴らしい1年になることを祈念して始業式のあいさつとします。